

三輪車

ワンワンとうーたん あせんぽ メロディ

〈取扱い・組立説明書〉

●この度はワールドの三輪車をお買い上げいただきありがとうございます。安全に、正しく使用していただくために、説明書をよくお読みください。又、この説明書は必ず保管してください。

主材質

フレーム・押し手パイプ：スチール
フットステップ・前カゴ・座席：ポリプロピレン(PP)
後バスケット : ポリエステル

部品内容

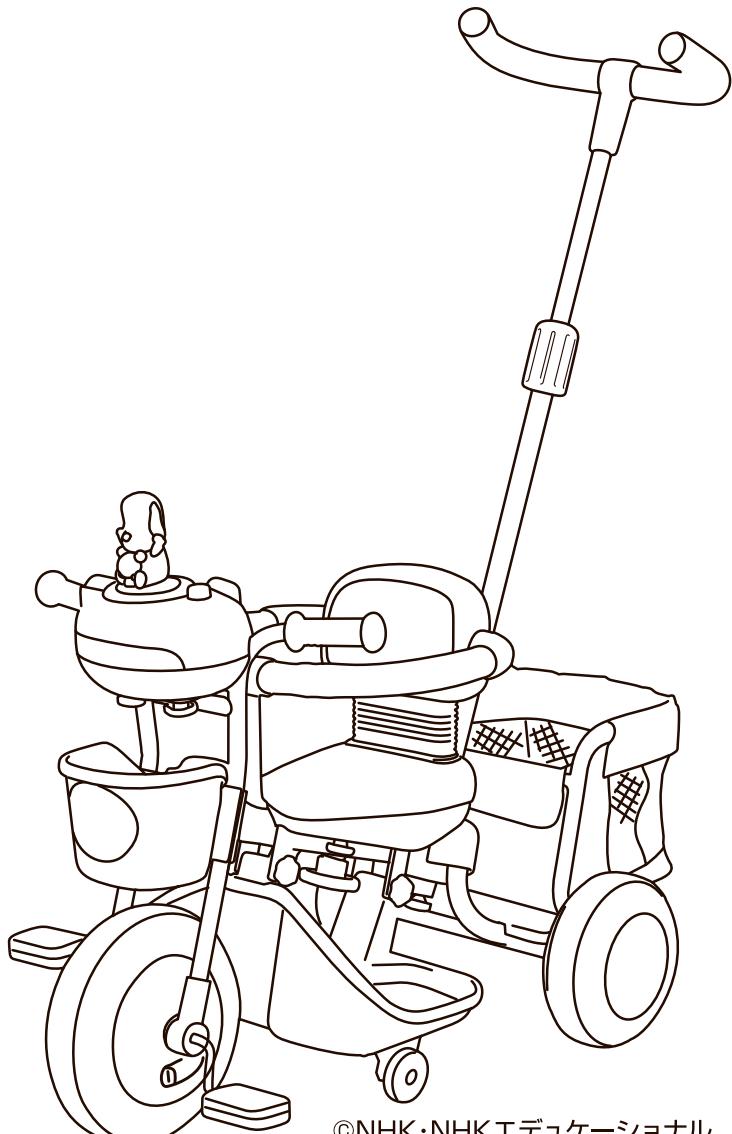
組立前に部品内容を確認してください。

ネジ・化粧ナットなどは部品に仮付けしております。

使用対象年齢 1才半～4才

(体重 20kgまで)

前車輪セット	本体フレームセット	背もたれ・ジャバラセット	前カゴ
フットステップ	カジキリ押手棒	メロディブザー	後バスケット・フレーム



©NHK・NHKエデュケーションナル

●組み立て方法

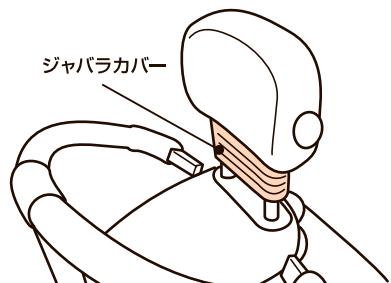
●本体フレームの組立

- 1 背もたれにジャバラカバーが付いている事を確認し、本体フレームの座席後部の2ヶ所の穴に背もたれパイプを差し込んでください。

注意

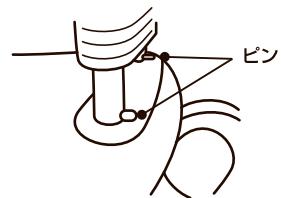
背もたれは一度取付ますと抜けなくなります。

必ずジャバラカバーがついていることを確認してください。



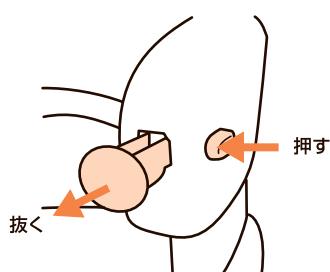
背もたれは上から押し込むようにすれば座席に取付けできます。押しても背もたれが奥まで入りにくい時は、パイプから出ているピンをパイプの中に押し込むようにしながら背もたれを奥まで差し込んでください。

差し込みましたら背もたれを引き上げ、座席から抜けないことを確認してください。



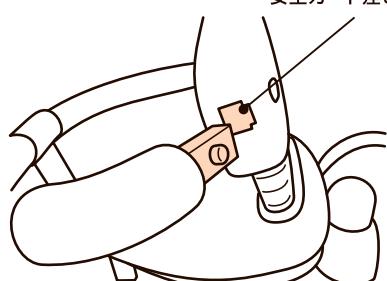
- 2 背もたれ裏側のボタンを押しながらガード差込穴保護キャップを抜き取ってください(左右共2ヶ所)。

抜いた保護キャップはガードが不要となった時に使用します。
無くさないよう保管してください。



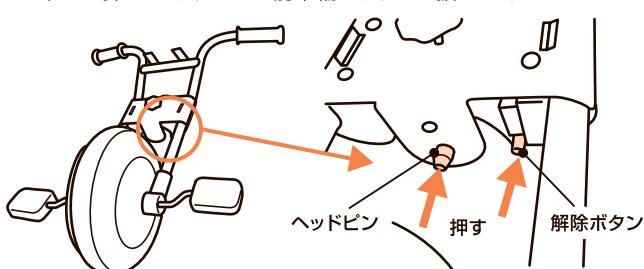
- 3 背もたれ左右の安全ガード差し込み穴に安全ガードを差し込んでください。

安全ガード差し込み穴



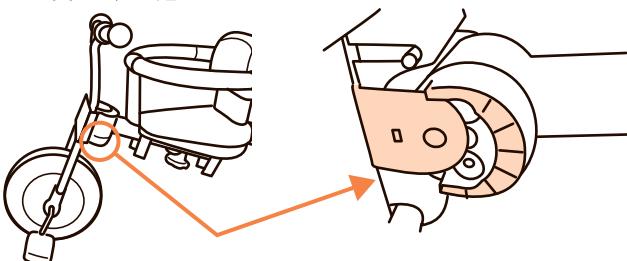
●前車輪セットと本体フレームの組立

- 4 前車輪セットのヘッドピン解除ボタンを押したまま ヘッドピンを下から押し、ヘッドピンを前車輪セットから抜いてください。

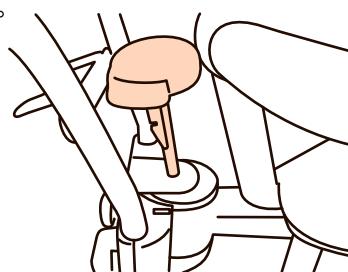


- 5 前車輪セットと本体フレームを合わせます。

本体フレームの図に示した箇所の切欠き部に、前車輪セットを合せて奥まで差し込んでください。



- 6 前車輪セット上部の穴と本体フレームの穴を合せ、ヘッドピンを差し込んでください。



ヘッドピンの平らな面を前側にしてください。

平らな面
ヘッドピン



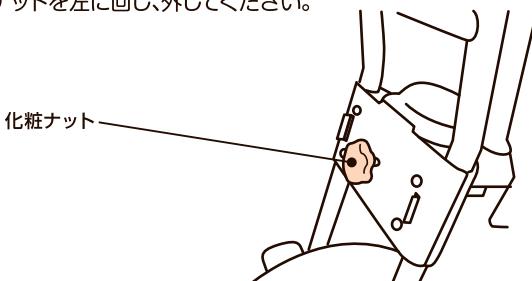
ヘッドピンの2本の爪を前車輪セットの樹脂部の四角穴に合せて「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

ヘッドピンを押し上げても抜けないことを確認してください。

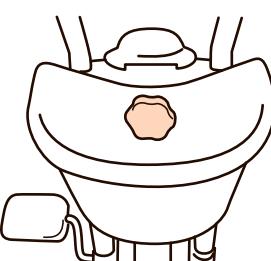


●前力ゴの取付

- 7 前車輪セットのヘッドに付いている化粧ナットを左に回し、外してください。



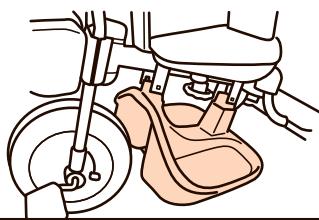
- 8 前車輪セットのネジと前力ゴの穴を合せ、外した化粧ナットで取付けてください。



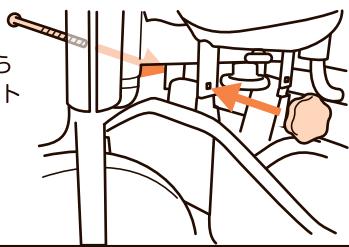
● フットステップの取付

9

本体フレーム座席下のフットステップ取付バンドについている化粧ナットとネジを前後とも外し、取付バンドの間にフットステップの前後を確認し取付けてください。



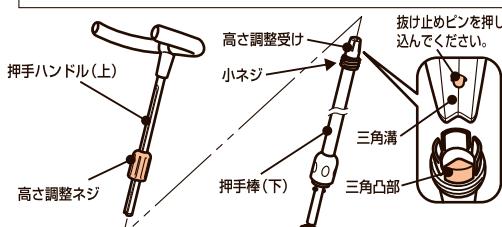
フットステップ取付バンドの外側から外したネジを通して、化粧ナットでフットステップを取付けてください。



● カジキリ押手棒の取付

- 10 高さ調整ネジを押手ハンドル(上)に通してください。
押手ハンドル(上)の三角溝を押手棒(下)の三角凸部に合わせて差し込んでください。
押しやすい高さ位置に合わせて高さ調整ネジを締め付けて固定してください。

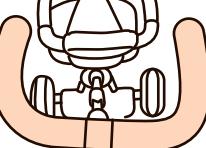
組立てを間違った場合、押手棒(下)の高さ調整受けを取り外せば押手ハンドル(上)と押手棒(下)に分離できます。
高さ調整受けを取り外すには、小ネジをゆるめてください。



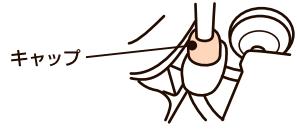
- ①本体フレームについている穴なしキャップを左に回して外してください。



- ②カジキリ押手棒下側の化粧ナットを外し、ハンドルを正面に向けて切り欠きを合わせ、押手ハンドルのグリップを前にして差し込んでください。
切り欠きを合わせる
奥まで差し込む



- ③カジキリ押手棒についているキャップを締めてください。



- ④本体フレーム下側から化粧ナットを締めてください。

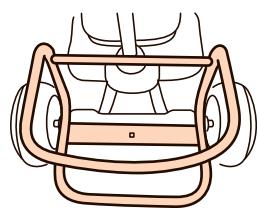


本体フレームについていた穴なしキャップはカジキリ押手棒を使用しなくなったときに必要です。無くさないように保管してください。

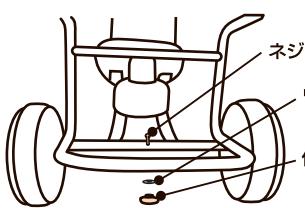
● 後バスケットの取付

- 11 バスケットフレームについている化粧ナットとワッシャー、ネジを外し、三輪車本体のステップに乗せ、上側からネジを通して、ステップ下側からワッシャーを入れて化粧ナットを締めてください。

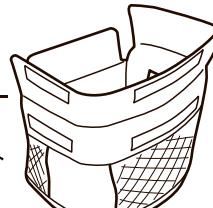
①バスケットフレームを乗せる



②ネジを通して、ワッシャーと化粧ナットで固定



③後バスケットの上部折り返しの面ファスナーを開いてからバスケットフレームの中に入れ、バスケットフレームのパイプを巻くように折り返し、面ファスナーで止めてください。

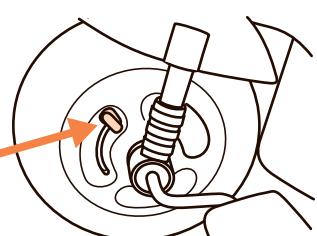


注意
バスケットの耐荷重8kg

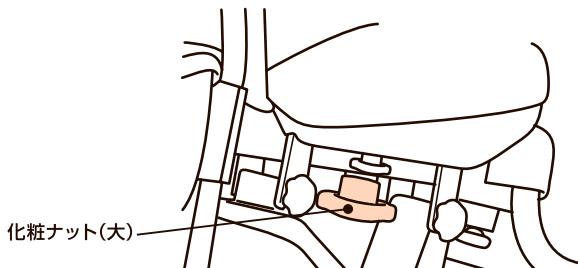
● お子様を三輪車に乗せるときのご注意 お子様を乗せる前にご確認ください。

お子様が自分でこぐ時以外は ペダルが足にあたっても足を巻き込まないようにFREE側にしてください。

ハンドルを左右に切った状態で三輪車を押すと ペダルがフットステップに当る時がありますが不良ではありません。

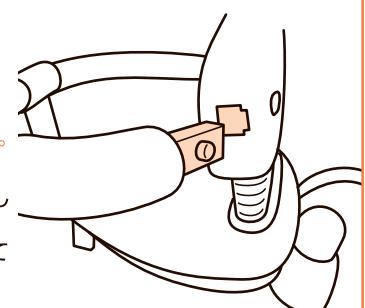


化粧ナット(大)に緩みのない事を確認してください。



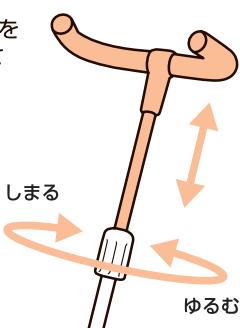
安全ガードに足をかけたり、安全ガードを持って三輪車を持ち上げることはしないでください。

お子様を三輪車に乗せるときは背もたれ後ろのボタンを押して安全ガードを開いて乗せてください。



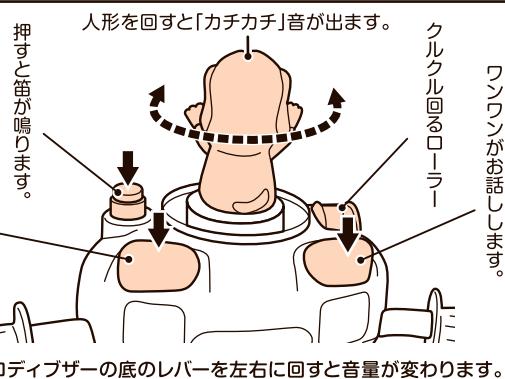
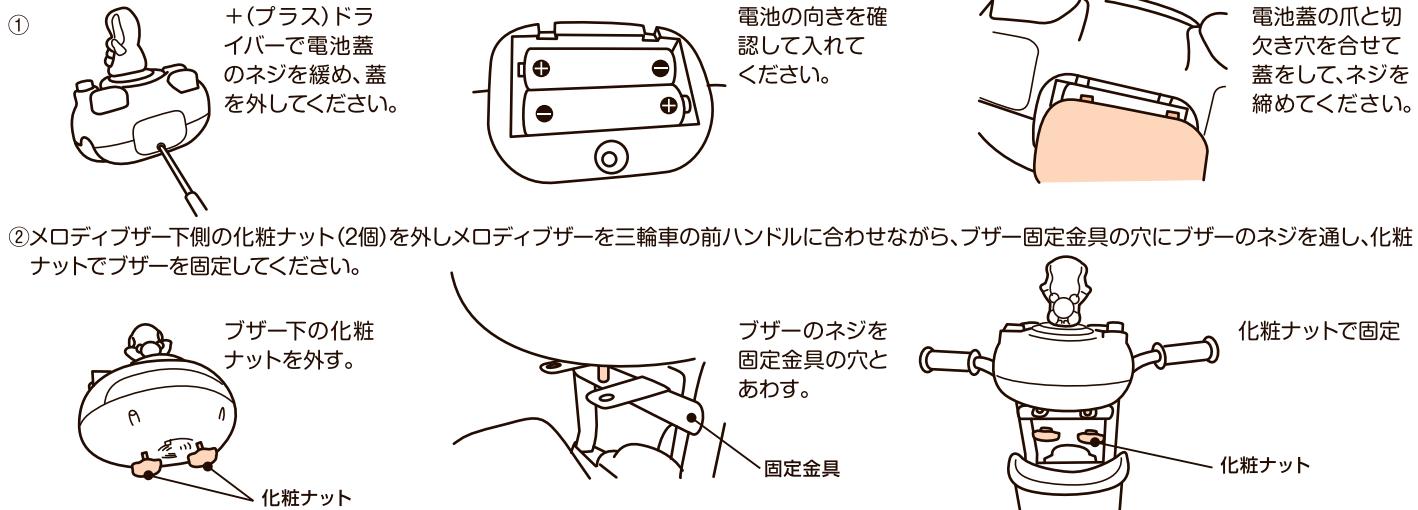
カジキリ押手棒の高さは、高さ調整ネジをゆるめ、押しやすい高さに合わせて高さ調整ネジをしっかりと締めてください。

お子様を乗せ 安全ガードを差し込みましたら安全ガードを手で軽く引いて 確実にロックされていることを確認してください。



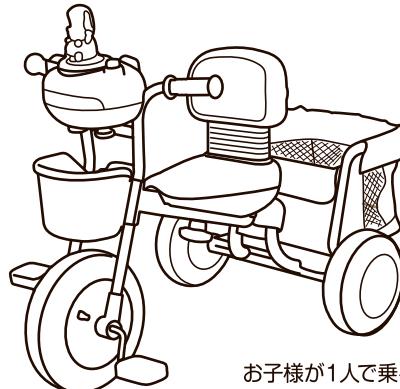
●メロディブザーの取付

②メロディブザー取付前に単三電池2本(別売り)をセットしてください。



●お子様が一人で乗るときは

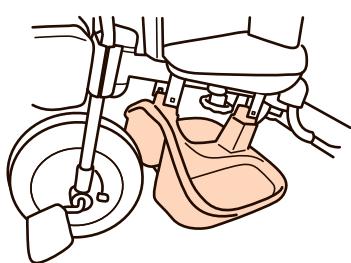
次の手順で「安全ガード」「カジキリ押手棒」「フットステップ」を外してください。



お子様が1人で乗る時の三輪車

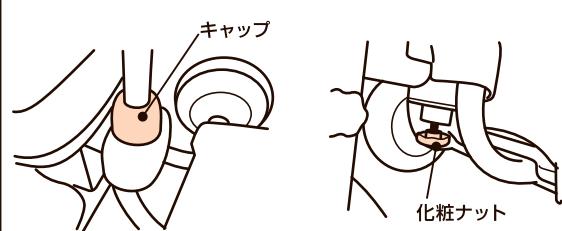
●フットステップの取外し

フットステップ取付化粧ナットとネジを抜いてからフットステップを外して下さい。



●カジキリ押手棒の取外し

カジキリ押手棒に付いているキャップをゆるめ、カジキリ押手棒下側の化粧ナットを外してください。
ハンドルを正面に向けてカジキリ押手棒を抜いてください。

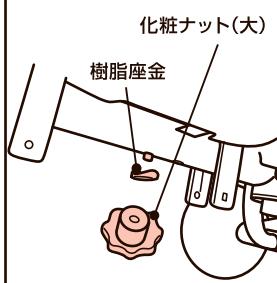


カジキリ押手棒を外したら、保管しておいた穴なしキャップを本体に取り付けてください。

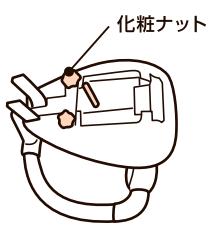


●安全ガードの取外し

化粧ナット(大)と樹脂座金を外し、座席を本体フレームから外してください。



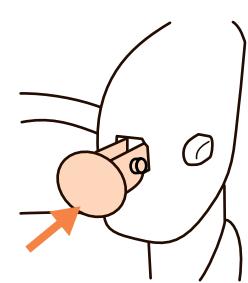
安全ガードを背もたれから抜き、座席裏側の化粧ナット2個を外すとフットステップ取付バンドと安全ガードが外れます。



本体後部のフットステップ取付バンドを外し、安全ガードを外した座席をフレームに取付け、樹脂座金と化粧ナットで座席を固定してください。座席の位置は前後とも使用できます。

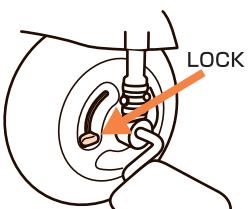


安全ガード差し込み穴保護キャップの凸側を後にして左右とも取付けて下さい。

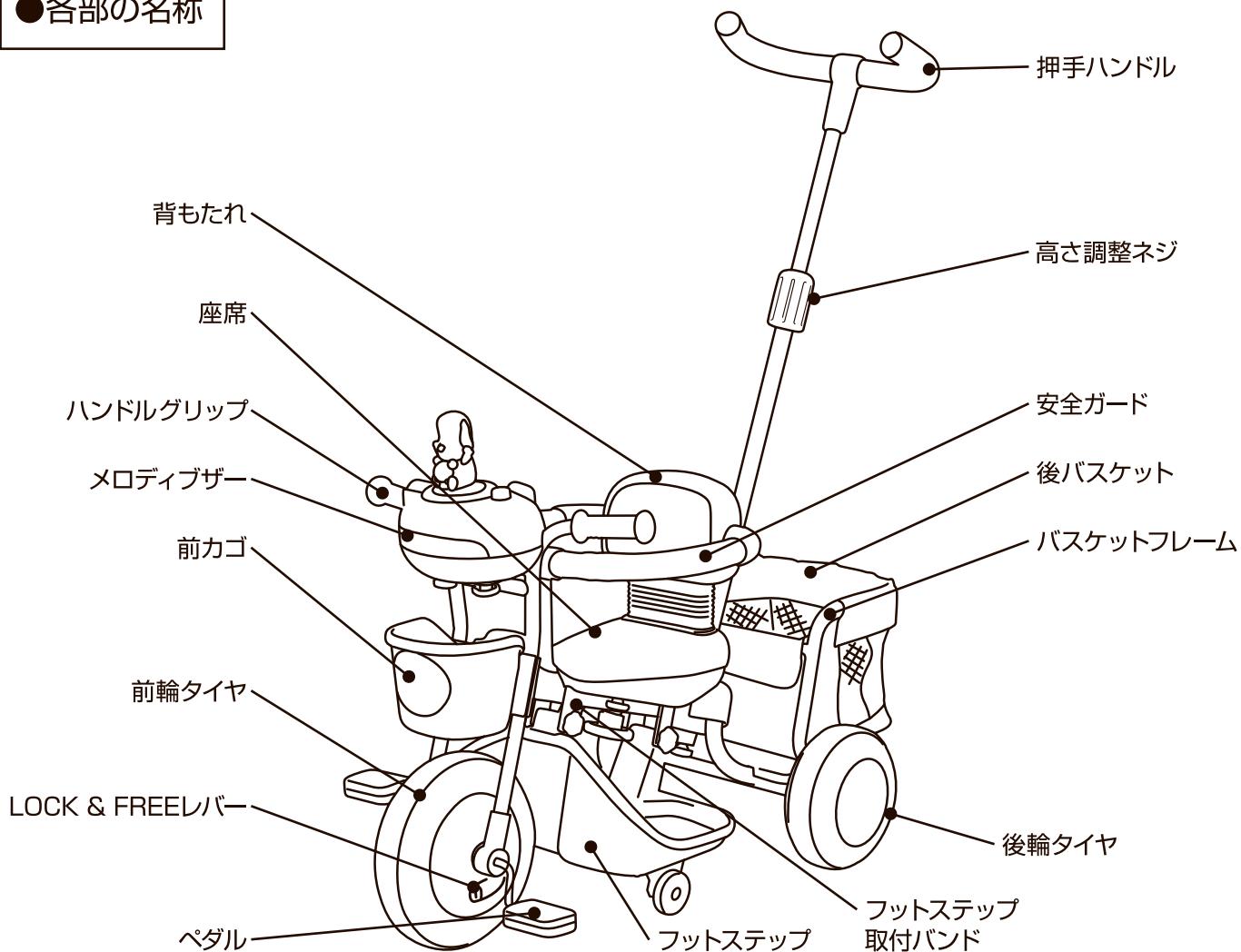


ペダルをロックしてください。

前輪のロック&フリーレバーをLOCK側に移動し、ペダルを回転させ「カチッ」と音がしてペダルがLOCK(固定)された事を確認してください。



●各部の名称



保証書

品名	ワンワンとうーたん おさんぽメロディ		
ご住所	〒 お名前	電話番号	()
販売店名	住所 店名	電話番号	()
保証期間	お買上げ年月日	年 月	日より1年間

保証規定 (ほしょうきてい)

- 保証期間中に正常な使用状態において製造上の不備により故障した場合は、お買上げ日より1年間は無償修理または部品交換します。
- 保証期間内でも次のような場合は有償修理となります。

- ◆火災・地震・水害・その他天災地変による故障及び損傷。
- ◆本書の提示がない場合。
- ◆本書にお買上げ日、お客様名、販売店等の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- ◆塗装やメッキ及びプラスチック部品の自然劣化による変色。
- ◆お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
- ◆一般家庭以外で、業務用やレンタルなどで、ご使用され故障した場合。
- ◆消耗品(電池切れやタイヤなどの摩耗)

- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 原則として一度ご使用になった商品はお取り替えできません。
- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty shall be valid only within Japan.
 ※故障品の修理を円滑且つ迅速に行うために、修理をご希望の場合は、
 お買上げ店へ持参せず本証書と製品を必ず下記本社宛へ直接お送
 りください。その際「修理品」とケースに明記してお送りください。
 ※ご記入いただきました個人情報はこの保証書の目的以外には使用いた
 しません。
 ※保証期間経過後の故障でも有料で修理いたします。
 有償修理に要する送料は、お客様のご負担とさせていただきます。

お子様を三輪車で安全に遊ばせるためには、 次の使用前の点検と日頃のお手入れが大切です。

《点検》

- 乗車前に、ハンドル・車輪・サドルやペダルにがたつきや、緩みがないことを確かめてください。
- 定期的に、手入れ及び点検を行ってください。

《保管》

- 三輪車はできるだけ直射日光の当たらないところに保管し、雨ざらしにしないでください。

《日頃のお手入れ》

- 本体や車輪についた泥などの汚れは、やわらかいブラシや布で拭いて落としてください。
- ひどい汚れは、布に水や中性洗剤を薄めたものを含ませてぬぐったあと乾いた布でよく拭いてください。
- 油は、前車輪のペダルの軸受け・回転部分、ハンドルの回転部分、並びに後車輪の車軸にのみ家庭用のミシン油か自転車油等を3ヶ月に1度程度少量注油してください。

《後バスケットの布部分のお手入れ》

- 汚れた時は、水を含ませた布でふき取った後、よく乾燥させて使用してください。
- 落ちにくい汚れは、市販の洗濯用洗剤を薄めたものを含ませた布でふき取り、水ぶきして乾燥させて使用してください。
※洗う必要がある時は、下記の表示に従い手で押し洗いしてください。

液温は30°Cを限度として 手で押し洗いしてください。	漂白剤は使用しないでください。
洗った後は絞らないでください。	形を整えて風の通る日陰に平干しし、十分に乾燥させてください。
アイロンかけはしないでください。	ドライクリーニングはしないでください。

⚠ 注意

- 洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。
変形、破損につながるおそれがあります。
- 洗濯すると水をはじく効果が落ちる可能性があります。
- 洗濯するとシワになる可能性があります。
- 洗濯すると色落ちや色移りする可能性がありますので他のものと一緒に洗わないでください。



使用上の注意

- ①一人で使用する幼児には、保護者が使用上の注意を指導すること。また、押し手ハンドルを使用する際は必ず保護者が操作を行い、幼児の足が巻き込まれないよう注意すること。
- ②足は、地面及びペダルに確実につくことを確認してから使用されること。
- ③押し手ハンドルとフットステップは、自走できない幼児のための補助具であり、幼児の足が地面及びペダルに確実につき自分でこげるようになったら外すこと。
- ④幼児がサドルに立ち上がらないよう注意すること。サドルに立ち上がって押し手ハンドルに寄りかかると三輪車ごと転倒する危険性があります。
- ⑤坂道での使用はさけること。
- ⑥交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないこと。
- ⑦車輪の周囲に手を入れないこと。
- ⑧二人乗りはしないこと。
- ⑨破損、故障などしたまま使用しないこと。
- ⑩用途以外に使用しないこと。

●品質向上のため予告なしに仕様を変更する場合がございますのであしからずご了承ください。